



## 中小企業家同友会釧路支部

釧路管内法人4600社の1割を会員にと、6月1日からプロジェクトをスタートした中小企業家同友会釧路支部(横地敏光支部長)で、4日、プロジェクトで第1号入会となつたビケンワーク釧路支社(小和田力支社長)に会員の三つの目的を掲げた額を寄贈し、入会手続きを行つた。

### が入会 着実に会員のばす 第1号

# 力460社プロジェクト

この会員増強プロジェクト

この会員増強プロジェクトは「DAY7・31」と名付けられ、7月31日までに、会員460社を達成しようというものです。4日現在の会員数は432社。亀岡孝副支部長を10%プロジェクト本部長に、プロジェクトメンバー50人を委嘱。この50人(社)が新たな会員

50人を推薦し、入会を促す運動を展開している。

第一号のビケンワーク

釧路支社は大久保芳直組

織委員長が推薦。ビケン

ワークの小和田支社長は

入会の動機について「経

営の勉強会はいろいろ

あるが、同友会はスタッ

フ末端までが学べる組織

で、ボトムアップにつな

がると考えた」と話し、

同友会のモットー「社員

と経営者がともに学ぶ

に魅力を感じたといふ。

釧路支部は2005年

に400社、06年に43

0人と会員数を伸ばし、

亀岡本部長(左端)と  
大久保委員長(同2人)  
の目的の額を受けるビ  
ケンワークの小和田支  
社長(右)

に魅了を感じたといふ。  
釧路支部は2005年  
に400社、06年に43  
0人と会員数を伸ばし、

50人を推薦し、入会を促す運動を展開している。第一号のビケンワークは大久保芳直組織委員長が推薦。ビケンワークの小和田支社長は入会の動機について「経営の勉強会はいろいろあるが、同友会はスタッフ末端までが学べる組織で、ボトムアップにつながると考えた」と話し、同友会のモットー「社員と経営者がともに学ぶ」

と改善につながる勉強をする組織」という目的が明確である。地域の会員と交流、磨きあい(シナジー)を伸ばして来た理由について、同本部長は「経営

の厳しい釧路地域で会員を増やしていくには、地域貢献を理解し経営を学ぶ意思があれば十分」と話す。

この2年間、経営環境

を改善する最終目標年を

迎えた。亀岡本部長は「会員になるには、働く意義と地域貢献を理解し経営

を学ぶ意思があれば十分」と話す。

今年法人1割の460人

に到達する最終目標年を

迎えた。亀岡本部長は「会員になるには、働く意義と地域貢献を理解し経営を学ぶ意思があれば十分」と話す。